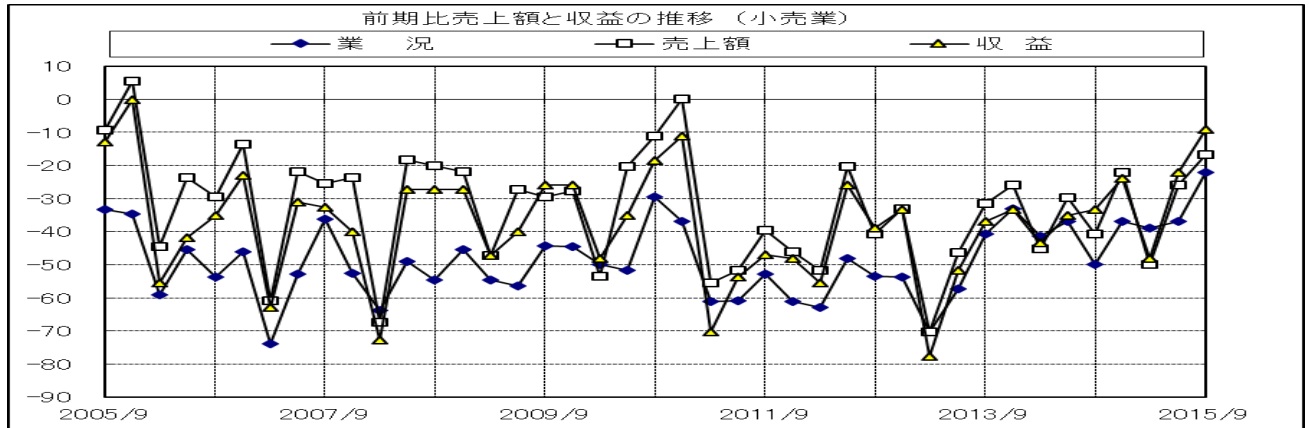


小売業 54企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
業況	-38.9	-37.0	-22.1	-20.3
売上額	-49.9	-25.9	-16.7	-3.7
収益	-48.1	-22.2	-9.2	-9.2

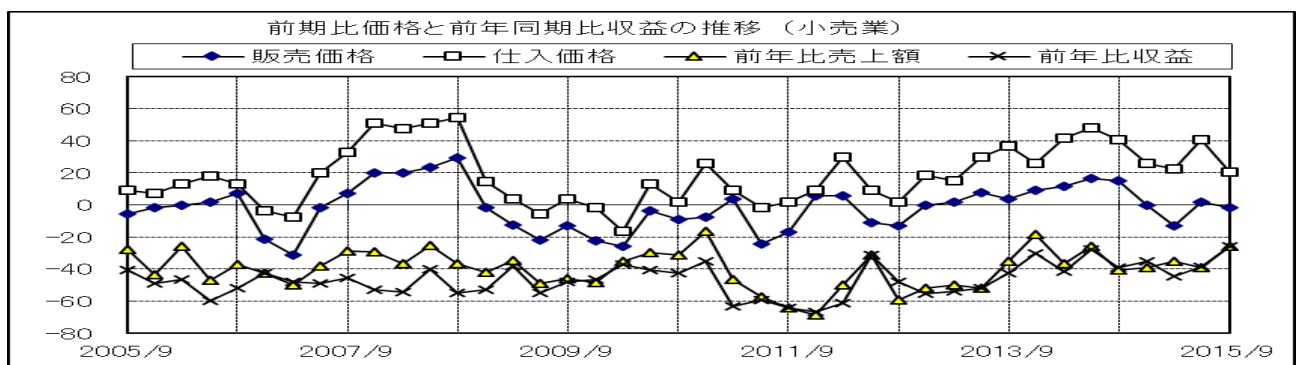
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 22.1$ と、前期比 14.9 ポイント上昇で、改善した。地区別の D. I. は高い順に、広尾、三石、えりも、静内、様似、浦河と続いた。業況判断 D. I. は、前年 ($\Delta 49.9$) 比 27.8 ポイント上昇した。売上額判断 D. I. は $\Delta 16.7$ と、前期比 9.2 ポイント上昇。収益判断 D. I. は $\Delta 9.2$ と、前期比 13.0 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
販売価格	-13.0	1.9	-1.9	7.5
仕入価格	22.2	40.7	20.4	27.8

販売価格判断 D. I. は $\Delta 1.9$ と前期比 3.8 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 20.4 と前期比 20.3 ポイント下降した。販売価格は前年 (14.8) 比で 16.7 ポイント下降。仕入価格も前年 (40.7) 比 20.3 ポイント下降した。業種別には衣料品は販売価格が横這い、仕入価格は下降。食料品は販売価格が上昇、仕入価格は下降した。家電品は販売価格、仕入価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
残業時間	-3.7	-5.5	-5.5	-5.5
人手状況	-11.1	-13.0	-14.8	-14.8

残業時間判断 D. I. は $\Delta 5.5$ と、前期と同水準となり、残業時間が減少したとする企業割合は横這いとなった。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 14.8$ と、前期比 1.8 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

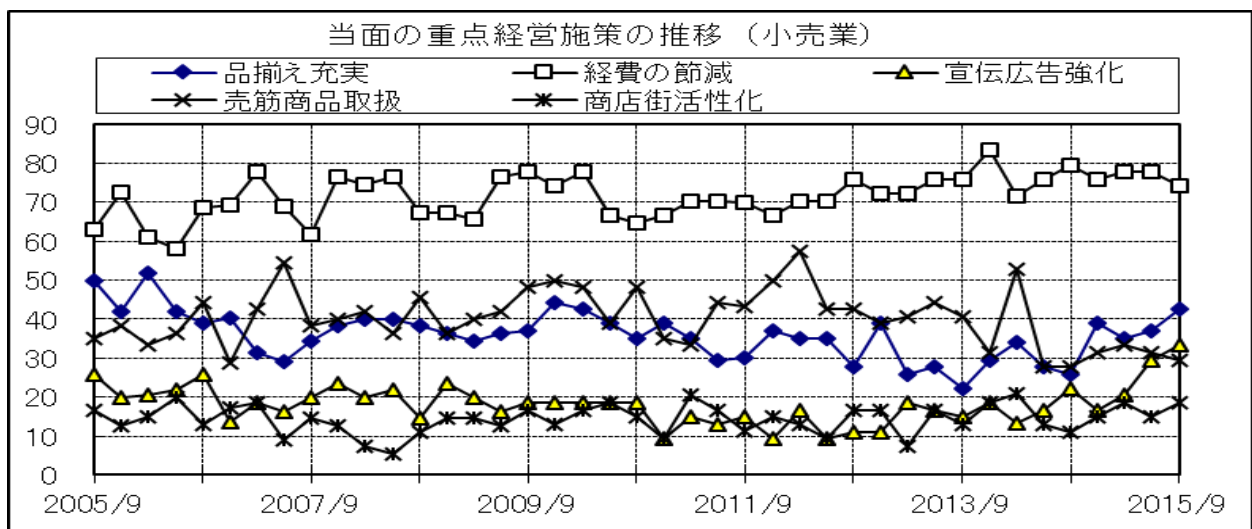
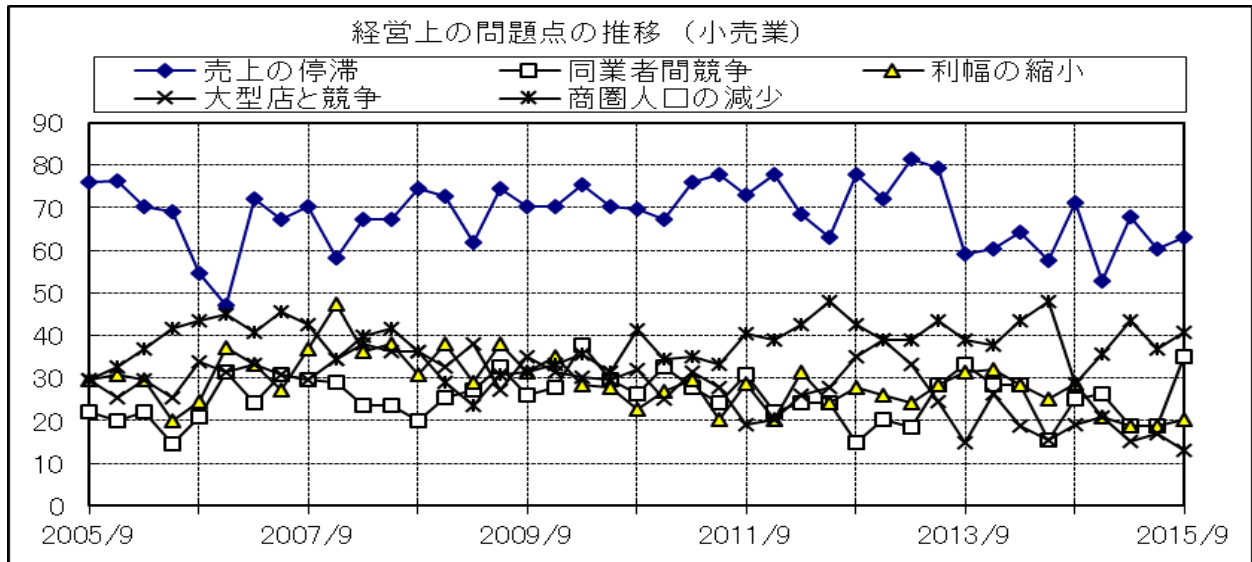
設備投資の充足感を示すD. I. は△11.1 と、前期比 1.8 ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は 7.4 で、前期比 3.7 ポイント上昇、前期の 2 社に対し 4 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 6 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ 63.0%、次に「商圈人口の減少」が 40.7%、「同業者との競争」35.2%、「利幅の縮小」が 20.4%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 74.1%、次に「品揃えを改善する」42.6%、「宣伝広告を強化」33.3%、「売れ筋商品取扱い」が 29.6%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△20.3 と、今期比 1.8 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は△3.7 と、今期比 13.0 ポイントの上昇を見通している

予想収益判断D. I. は△9.2 と、今期と同水準昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は 7.5 と、今期比 9.4 ポイントの上昇を見通している。

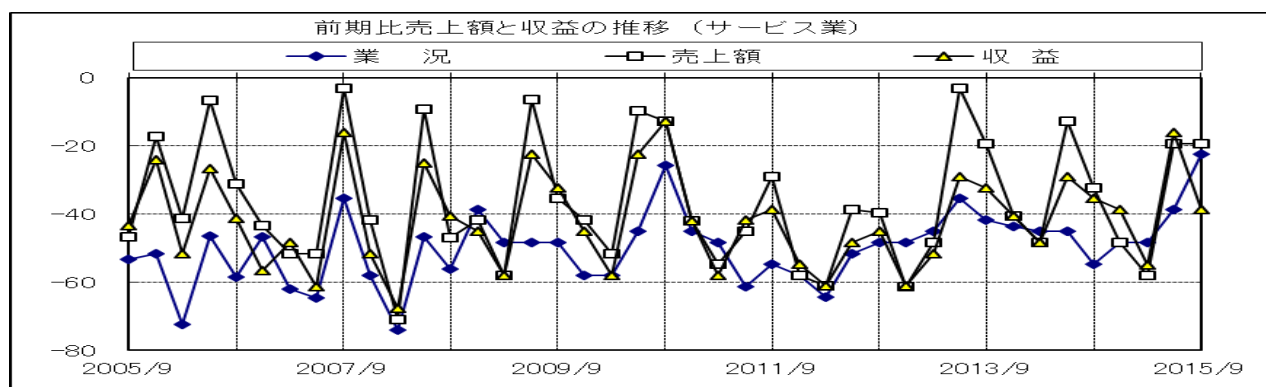
予想仕入価格判断D. I. は 27.8 と、今期比 7.4 ポイントの上昇を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-48.4	-38.7	-22.6	-29.0
売上額	-58.1	-19.4	-19.4	-29.0
収 益	-54.9	-16.2	-38.8	-38.6

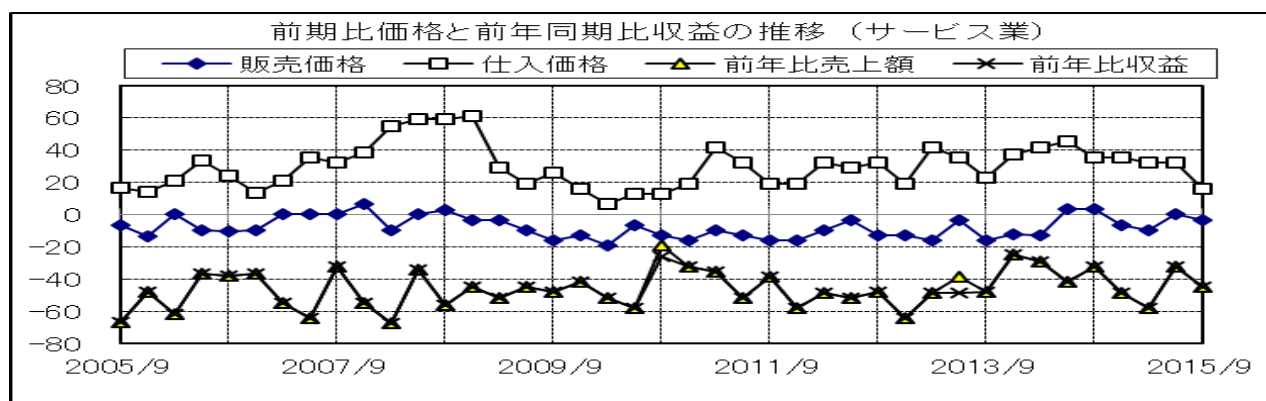
今期の業況判断 D. I. は△22.6 と、前期比 16.1 ポイント上昇で、改善した。地区別の D. I. は高い順に、三石・様似・広尾が同水準でトップ、次は浦河、静内・えりもが同水準で続いた。前年（△54.8）比では 32.2 ポイントの上昇となった。売上判断 D. I. △19.4 は前期比同水準。収益判断 D. I. △38.8 は前期比 22.6 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
料金価格	-9.7	0.0	-3.2	-3.3
材料価格	32.3	32.2	16.1	16.1

料金価格判断 D. I. は前期ゼロ水準から 3.2 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 16.1 と前期比 16.1 ポイント下降した。業種別にみると洗濯理容業は、料金価格、材料価格ともに上昇。自動車整備業は、料金価格、材料価格ともに下降。旅館業では料金価格が上昇、材料価格は下降となった。料金価格は前年（3.2）比で 6.4 ポイント下降、材料価格は前年（35.5）比 19.4 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-25.9	-9.7	-9.7	-12.9
人手状況	-6.4	-12.9	-6.4	-3.2

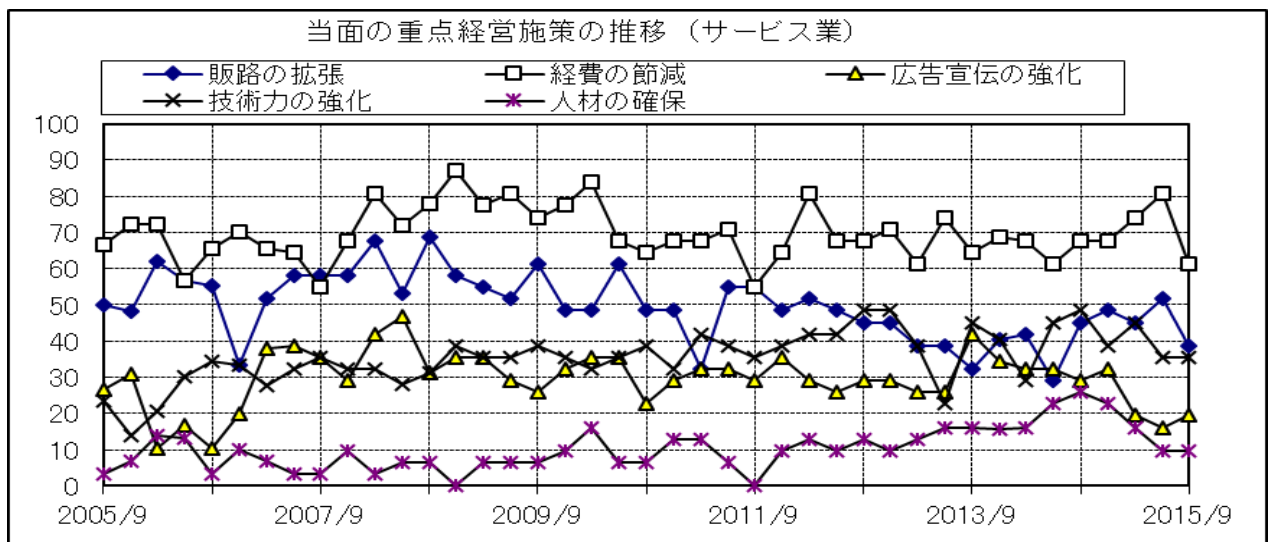
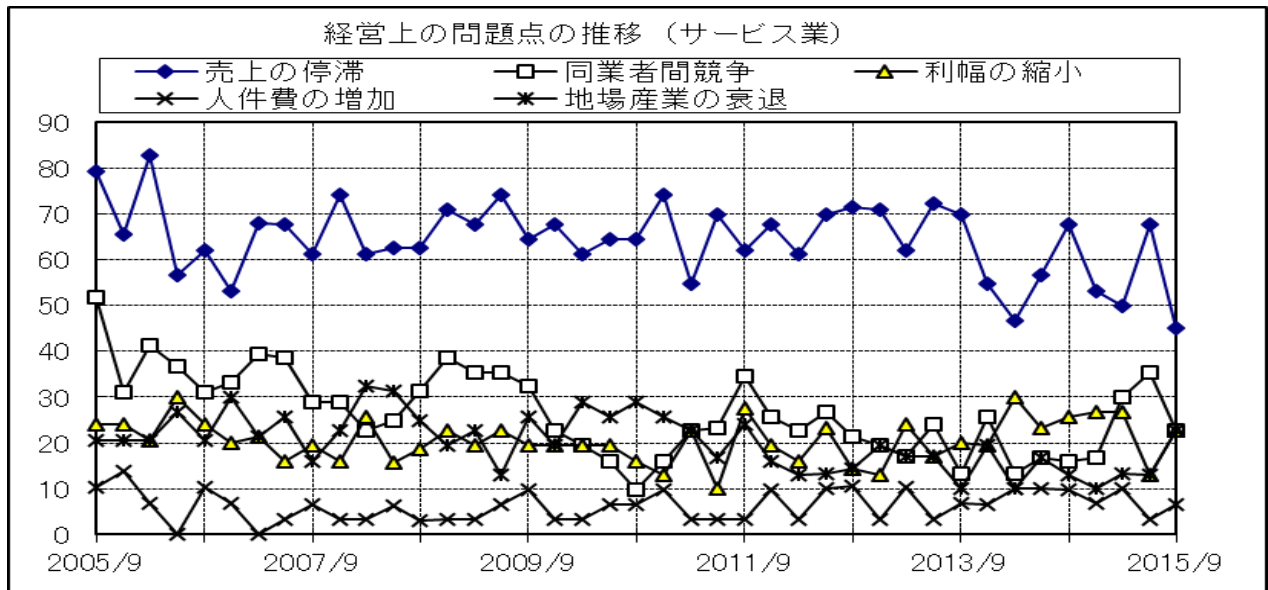
残業時間判断 D. I. は△9.7 と、前期比横這いとなった。
人手過不足判断 D. I. は△6.4 と、前期比 6.5 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△19.4と、前期比6.5ポイント下降し不足感は強まった。設備投資実施企業割合は25.8で前期比9.7ポイント上昇。前期5社の実施に対し、8社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」・「商圈人口の減少」をトップに挙げ45.2%、次いで「材料価格の上昇」が29.0%、次に「同業者との競争」・「利幅の縮小」・「地場産業の衰退」が同率の22.6%となっている。重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ61.3%、次いで「販路を広げる」38.7%、「技術力を強化する」が35.5%となっている。次に「宣伝広告の強化」19.4%、「教育訓練を強化」が12.9%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△29.0と、今期比6.4ポイントの下降を見通している。
 予想売上額判断D. I. は△29.0と、今期比9.6ポイントの下降を見通している。
 予想収益判断D. I. は△38.6と、今期比0.2ポイントの上昇を見通している。
 予想料金価格判断D. I. は△3.3と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。
 予想材料価格判断D. I. は16.1と、今期比横這いの水準を見通している。